

地域別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答				2025/01/29 印西市PTA連絡協議会		
N0.	テーマ	地域	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
1	市P連の存続意義	共通	生徒・児童数で比較すると、PTAIに加盟中と脱退検討中の学校を合わせた数よりも、実は非加盟と既に脱退した学校の方が生徒・児童数が多い状況でございます。このような状況から、過半数の声を活かしていないという組織になっています。	本来的には役割としては情報共有と共通課題の要望という2点だと思います。本来的にはそういう機能を果たせるような組織なのであれば意味があるのかなと思います。今日皆さんから直接お話を聞かせていただきましたので、組織の必要性について目的に照らしてこれから私も考えていきます。	—	生涯学習課
2	P T Aの存続意義と任意加入	共通	P T A会費を集める以上、任意加入団体にしないと筋が通らない。強制加入でのP T A組織の継続は難しいと思う。今後そういう意見の人が増えてくることが想定される。		—	生涯学習課
3	子ども110番について	共通	名簿の更新時、小中学校を卒業した保護者さんへの連絡が大変で、卒業して連絡先が変わった人との連絡が取れない。学校では担えないので、今後必要であれば市で対応いただきたい。	持ち帰って確認します。	こども110番については、印西市こども110番運営委員会によって実施されていると認識しています。 市としては、ステッカーや看板等の購入、保険の加入をすることで活動の支援をしてまいりました。しかしながら、今後の当制度の在り方については、運営委員会と相談しながら検討していきたいと考えています。	生涯学習課
4	P T A会費からの備品負担について	共通	児童活動支援金ということで現金をお渡ししています。学校の活動にかかる費用というのは、基本的に税金で賄うべき。 具体的には、家庭科で使うミシンが故障したけど直せない、ピアノの調律とか楽器系のメンテナンスが必要だったりとか、コロナの時に加湿器を入れたことによって、加湿器のレンタル代も全部P T Aが出している。	PTA会費を備品に使うということはあってはいけない話で、そこは対応できるように、教育委員会の方としっかり議論していきます。翌年度以降の予算については、少なくともある程度の余裕が持てるようにするのと、根本的には教育行政のトップと市政のトップが意思疎通をしながら現場の意見を吸い上げることに尽きると思っています。	—	生涯学習課
5	除草作業について	共通	除草作業にかかわる人員（PTA・教職員）不足により、必要以上に作業時間を要し、生徒たちの運動・部活動に影響を与えている。また、作業に従事するPTA・教職員の負担が増大している。シルバー人材センター等の外部への委託も検討いただきたい。	共働き世代も多くなり、刈払機を持ってる人も少ないし、シルバー人材センターの人をお願いすることも含め、状況の変化に合わせて変えていくことがまだ十分にできていないということだと思いますので、変えられるところは変えていこうと思っています。各学校の規模に関わらず、各学校を取り巻く状況を踏まえて対応していくことが大切だと考えています。	—	指導課
6	大会の参加費への補助について	共通	全国大会への参加費用の支援をお願いしたい。	持ち帰って確認します。	中学校の部活動については、部活動補助金交付要綱を基に、関東大会、全国大会に出場した選手に対して、補助金を交付しています。大会参加費全額、交通費全額、宿泊費の一部を、学校を通して保護者代表の申請を受け付けています。	指導課
7	スクールゾーン、信号機の設置について	共通	交通事情により、国道464のスタバ周辺のスクールゾーンにしていきたい。信号のない交差点への信号機の設置をお願いしたい。	警察の所管になりますが、市としてもしっかり要望していきます。保護者の方々と市とそれぞれで要望することが重要だと思います。	—	指導課 道路建設課 市民活動推進課
8	通学路（歩道）の整備	印旛	通学路の中で道路（歩道）整備がなされていない箇所がある。印旛支所の向かいの坂道などは歩道がガタガタなところがある。子供たちが安心して通えるようにしていきたい。	持ち帰って確認します。	子どもが安全に通行できる道路の整備について、この度ごいただきました道路も含め、千葉県印旛土木事務所にお伝えいたしました。	道路建設課

N0.	テーマ	地域	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
9	通学手段(スクールバス・路線バス)の確保	鹿黒	徒歩での通学が困難な場合の通学手段の確保をお願いしたい。	持ち帰って確認します。	鹿黒の指定校は大森小学校であり、令和6年度よりスクールバスを運行しております。原山小学校は学区外であり、保護者の責任において通学することを許可要件としており、スクールバスは対象外となります。 また、ふれあいバスの中ルートの原山三丁目停留所で14時台3便運行されており、京成バス千葉セントラル株式会社印西営業所により神崎線の上り（鹿黒停留所）で7時台2便、下り（原山小学校停留所）で14時台1便、16、17時台、各1便運行されています。 引き続き、市内全域における児童生徒の通学状況を確認しつつ、安全な通学方法について検討していきます。	学務課
10	通学手段(スクールバス・路線バス)の確保	印旛	路線バスが利用できれば選択肢として増えるので、学校が終わる時間に路線バスがあるといいです。	下校のタイミングですね。平賀学園台の子どもたちが路線バスで通っているエリアでもありますので、持ち帰って確認します。	印旛中学校に関しては、京成バス千葉セントラル株式会社印西営業所により印旛学園線の印旛日本医大駅から13～17時台各1便、19時台1便が運行されています。	学務課
11	学童の学校格差	共通	公立学童の定員割合、児童数に対しての定員割合が、非常に学校差があるということです。あとは、民間学童の送迎バスがある小学校にはほとんど行かないんですね。なので、民営の学童に行きたいということになっても実は選べないので、選択の自由がないということで、その配慮があるとよりお母さんたちが安心、子どもたちも安心かなというところです。 学童それぞれのサービスにも格差がありますので、特に民間は当然、格差が出るサービスもあるかと思うんですけども、スタッフさんで運営されている部分で学童によってサービスに格差があると思うのでぜひご検討いただきたい。	来年度、学童については教育委員会に担当を移します。学童については、空いている教室を使ったりとか、現在も普通に使っている教室などを放課後、例えば子供たちの荷物がしっかりとセキュリティや鍵がかけられた状態にした上で学童として使っていくなどの様々な方法を考えています。今実は新しく作ろうとしている学校はそういうことを考えていたりするんですけど、何かしらより柔軟に学童を増やしたり、逆に児童が少なくなったら学童を減らしたりできるような体制に向けて今動いているところです。	—	生涯学習課
12	給食の地産地消比率の拡大	共通	印西市の農家さんを応援したいという思いがありまして、印西市の農家さんが作った野菜を小学校の給食に取り込んでいただくことで農家の方々の生活を更に豊かにしたり、食育につなげていただけたらと思います。	献立の作成時期と入札の関係で市外からの調達割合が高いですが、市内の生産者が入札に参加しやすい制度を検討しています。	—	学校給食課
13	今後の教育政策	共通	今後の市長の教育政策をお聞きしたい。	子どもたちがこの地域の未来を作っていくので、次の時代に彼ら・彼女たちがしっかりと生きていける力を育むということが、私たちの一番重要な責務だと思っています。その中で、当然ながら個別の個人個人に合った選択肢を用意するというのが大前提だと思います。 その中では、今、学校を変えない子も増えているのでフリースクールや学校内フリースクールのような場所も精査していきます。外国語教育については、英語に特化するというのであればインターネットスクールみたいな選択肢を用意するということも必要であると考えています。また、印西市の地域視点をどう活かしていくかということも大事だと思っています。この辺りを一度整理して、なるべく多くの子どもたちに日本で一番進んだ教育環境を提供していきたいと考えています。	—	教育総務課 指導課

N0.	テーマ	地域	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
14	I C T教育の継続	原山小	中学生になるとI C T教育が継続されないため、せっかく身に付いた知識が廃れてしまう。中学校での継続を検討いただきたい。	おっしゃる通りです。来年度、原山小で取り組んでいるような教材を全市的に導入できるようところで予算をつけたところです。なぜかという、日本で一番デジタル教育が進んでいるのは原山小学校です。 それを全市に展開することで、デジタル教育が日本一のまちになることができます。どんな分野に行っても、これからデジタルというものは絶対に欠かせないので、そういう意味でも、このデジタルのスキルないしはベースになる力を子供たちに身に付けさせることがすごく大事だと思っているので、そういったデジタル教育については最速で進めていきたいです。	—	指導課
15	教室不足	滝野小	教室が本当に足りません。年々児童数も増え、学級数も増えてます。21教室しかないのに27学級必要です。中学校の増設した分を小中が共有して使うのは休み時間も違う、試験中に小学生がうるさいなどの色々なクレームが入り小学校と中学校の共有は難しい。	持ち帰って確認します。	滝野小学校と滝野中学校は開校当初から、小・中学校一体での運用を見込んで整備しています。現状では中学校部分に空き教室がありますことから、小・中学校の教室の配置については、弾力的に運用ができと考えています。	教育総務課
16	空調導入・整備	共通	特別教室にはエアコンが付いていなくて夏場の授業は大変だということは子供たちから聞いたことがあります。予算があるのならそちらの方にもエアコンを付けていただきたい。	令和8年度まで術全ての特別教室に空調が入る予定になっています。体育館についても来年度から順次導入を進め、令和10年度までに全ての中学校の体育館に空調が入るように進めています。	—	教育総務課
17	民間学童への通学バスの増便	原山小	民間学童の送迎バスがほとんどなく、民営の学童の選択肢がない。	持ち帰って確認します。	現在、送迎バスの保有状況やニーズにより、各事業所の裁量で受入れを実施しています。今後、民間学童と協議していきます。	生涯学習課